




**Microsoft System Center Operations Manager  
向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1  
インストールガイド**



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

**著作権 © 2009 - 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。** この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、および Dell のロゴは、米国および / またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2015 - 05

Rev. A00

# 目次

<b>1 概要</b> .....	<b>5</b>
本書で使用される用語.....	5
作業を開始する前に.....	6
Dell Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能.....	6
監視機能の対応 OpsMgr バージョン .....	7
OpsMgr バージョンの対応 Dell ハードウェアデバイス.....	7
<b>2 Dell Server Management Pack Suite のインストール</b> .....	<b>9</b>
インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite のインストール.....	9
以前のバージョンからの Dell Server Management Pack Suite のアップグレード.....	10
インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 からのアップグレード.....	10
バージョン 5.2.0 および以前のバージョンからのアップグレード.....	10
以前の Operations Manager からのアップグレード.....	10
OpsMgr 2012 SP1 から OpsMgr 2012 R2 へのアップグレード.....	10
OpsMgr 2012 から OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレード.....	10
OpsMgr 2007 R2 から OpsMgr 2012 へのアップグレード.....	10
インストーラの修復オプションの使用.....	11
Dell Server Management Pack Suite のアンインストール.....	11
インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite の削除.....	11
Windows のコントロールパネルを使用した Dell Server Management Pack Suite のアンインストール.....	12
トラップとトラップベースのユニット監視のための OpsMgr 2012 の設定.....	12
SNMP 監視のための Run As アカウントの作成.....	12
複数 Run As アカウントの関連付け.....	13
<b>3 監視機能のインストール</b> .....	<b>14</b>
OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート.....	14
Feature Management Dashboard.....	14
Feature Management Dashboard を使用した監視機能のインポート.....	15
Feature Management Dashboard を使用した監視機能のアップグレード.....	16
Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能の削除.....	17
<b>4 エージェントベースの監視機能</b> .....	<b>19</b>
管理パック.....	19
管理サーバー (MS) の要件.....	20
対応オペレーティングシステム.....	20
ソフトウェア要件.....	20

管理サーバーアクションアカウント (MSAA) .....	20
管理下システム要件.....	21
機能管理タスク.....	21
<b>5 エージェント不要の監視機能.....</b>	<b>23</b>
管理パック.....	23
管理サーバー (MS) の要件.....	24
管理下システム要件.....	24
機能管理タスク.....	24
<b>6 DRAC 監視機能.....</b>	<b>26</b>
管理パック.....	26
管理サーバー (MS) の要件.....	26
DRAC 監視要件.....	27
機能管理タスク.....	27
<b>7 シャーシ監視機能 .....</b>	<b>28</b>
管理パック.....	28
管理サーバー (MS) の要件.....	29
ソフトウェア要件.....	29
シャーシ監視要件.....	29
機能管理タスク.....	30
<b>8 シャーシモジュラーサーバー関連機能.....</b>	<b>31</b>
管理パック.....	31
管理サーバー (MS) の要件.....	32
シャーシモジュラーサーバー関連監視要件.....	32
機能管理タスク.....	32
<b>9 トラブルシューティング.....</b>	<b>33</b>
Feature Management Dashboard が自動入力されない.....	33
Feature Management Dashboard タスクが失敗する.....	33
機能管理アラート.....	34
Feature Management Host Server の正常性サービスがダウンしている.....	34
<b>10 付録.....</b>	<b>36</b>
Web Services Management (WS-Man) と SMASH デバイステンプレートのインストール.....	36
Run As アカウントの関連付けタスク – エージェント不要の監視機能.....	36
<b>11 デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....</b>	<b>37</b>

## 概要

本ガイドでは、Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 のインストール、設定、および使用方法について説明します。

Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、または Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 環境と Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 との統合により、お使いのデルデバイスを管理および監視し、その可用性を確保することが可能になります。

△ **注意:** データの破損、損失、またはそれら両方を避けるため、本書の手順は **Microsoft Windows オペレーティングシステム** および **Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager**、**Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager**、**Microsoft System Center 2012 Operations Manager**、および **Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2** の使用における適切な知識と経験をお持ちの場合にのみ実行してください。

Management Pack Suite インストーラ、インストールガイド、およびリリースノートファイルは、自己解凍型実行ファイル **Dell\_Server\_Management\_Pack\_Suite\_v6.1\_Axx.exe** ファイル (xx は Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 のリリース番号) にパッケージされています。この実行ファイルは **dell.com/support** からダウンロードできます。

管理パックのリリースノートをお読みください。これには、既知の問題に関する情報のほか、ソフトウェアおよび管理サーバー要件に関する最新情報が掲載されています。リリースノートは、**dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement** の Systems Management マニュアルページにも掲載されています。

## 本書で使用される用語

本書では、次の用語が全体を通じて使用されています。実際用語と適宜置き換えるようにしてください。

表 1. 本書で使用される用語

用語	意味
OpsMgr	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、および Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 を指します。
OpsMgr 2012	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、および Microsoft System Center 2012 Operations Manager。

用語	意味
Dell Remote Access Controller (DRAC)	特に指定のない限り、iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8。
シャーシ	特に指定のない限り、Chassis Management Controller (CMC)。
サーバー	特に指定のない限り、サーバーおよびラック型ワークステーション。
エージェントベースの監視	特に指定のない限り、サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベースの監視。
エージェントフリー監視	特に指定のない限り、サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェント不要の監視。

## 作業を開始する前に

管理サーバーに Dell Server Management Pack Suite をインストールするには、以下がインストールされていることを確認します。

- 次のいずれかのバージョンの OpsMgr をインストールします。
  - 2012 R2
  - 2012 SP1 – OpsMgr 2012 SP1 を実行するシステムで、マイクロソフトサポート技術情報記事 KB2826664 で提供されている OpsMgr 2012 SP1 用アップデートロールアップ 2 をダウンロードして適用します。詳細については、[support.microsoft.com/kb/2802159](http://support.microsoft.com/kb/2802159) を参照してください。
  - 2012
  - 2007 R2
- Microsoft .NET version 3.5 以降。

## Dell Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能

次の表に、本バージョンの Dell Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能を示します。

表 2. Dell Server Management Pack Suite 機能

機能	説明
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベースの監視	Dell PowerEdge、Dell PowerVault ストレージサーバー、および対応 Dell Precision ラックのエージェントベースの監視とインベントリ。
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェント不要の監視	Dell PowerEdge、Dell PowerVault ストレージサーバー、および対応 Dell Precision ラックのエージェント不要の監視とインベントリ。
DRAC 監視	Dell iDRAC デバイスの監視とインベントリ。
シャーシ監視	Dell CMC デバイスの監視とインベントリ。

機能	説明
シャーシモジュラーサーバー関連	エージェントベースの監視機能、またはエージェント不要の監視機能のいずれかを使用して検出された、シャーシ内のデルのサーバー間の相関関係。

## 監視機能の対応 OpsMgr バージョン



表 3. 監視機能の対応 OpsMgr バージョン

監視機能	OpsMgr	
	2012 R2/ 2012 SP1/ 2012	2007 R2
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベースの監視	✓	✓
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェント不要の監視	✓	✗
DRAC	✓	✓
シャーシ		
拡張性	✓	✓
詳細	✓	✗
シャーシモジュラーサーバー関連		
シャーシモジュラーサーバー関連	✓	✓
Dell モジュラーサーバーとのシャーシ共有ストレージコンポーネント関連	✓	✗

## OpsMgr バージョンの対応 Dell ハードウェアデバイス

表 4. OpsMgr バージョンの対応 Dell ハードウェアデバイス

Dell ハードウェアデバイス	OpsMgr 2012 R2/ 2012 SP1/ 2012	OpsMgr 2007 R2
Dell PowerEdge M1000e	✓	✓
Dell PowerEdge VRTX	✓	次の機能のみでサポートされます： <ul style="list-style-type: none"> <li>• シャーシ監視機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 拡張性</li> </ul> </li> </ul>

Dell ハードウェアデバイス	OpsMgr 2012 R2/ 2012 SP1/ 2012	OpsMgr 2007 R2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• シャーシモジュラーサーバー 相関監視機能</li> </ul>
Dell PowerEdge FX2		

# Dell Server Management Pack Suite のインストール


本項のトピックでは、Dell Server Management Pack Suite のインストール、アップグレード、アンインストールについて説明します。


## インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite のインストール

1. **Dell\_Server\_Management\_Pack\_Suite\_v6.1\_Axx.exe** (xx は Dell Server Management Pack のリリース番号です) を [dell.com/support](http://dell.com/support) からダウンロードします。
2. **.exe** ファイルを実行し、自己解凍式 zip ファイルの内容の解凍先となるパスを指定します。
3. 解凍した場所から **Dell\_Server\_Management\_Pack\_Suite\_x64.msi** ファイルを起動します。  
Dell Server Management Pack Suite のようこそ画面が表示されます。
4. **次へ** をクリックします。  
ライセンス契約が表示されます。
5. インストールを続行するには、ライセンス条項を読んでから承諾して、**次へ** をクリックします。
6. **変更** をクリックしてデフォルトのインストールフォルダを変更し (必要な場合)、**次へ** をクリックします。
7. **インストール** をクリックします。
8. **Install Shield** ウィザードの完了画面で **終了** をクリックします。  
管理パックは、**C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.1** に解凍されます。

Dell Server Management Pack Suite のインストール後、次のアイテムが自動的にインポートされます。

- エージェントベースの監視機能。
- エージェント不要の監視機能 (前提条件を満たす場合)。
- Dell Feature Management Pack。 [Feature Management Dashboard](#) が OpsMgr コンソールの **監視** → **Dell** に表示されます。監視機能のインポートについては、個々の監視についての項を参照してください。

 **メモ:** エージェント不要の監視機能には、デルのサーバーの監視に使用されるすべての管理サーバーでインストーラが実行される必要があります。インストーラは Dell Device Helper Utility (COM+ アプリケーション) を管理サーバーに登録します。デフォルトの場所は **C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.1\Library** です。

 **メモ:** インストーラは管理パックも解凍します。管理パックを解凍するには、Windows クライアントオペレーションシステムがインストールされたクライアントシステムでインストーラを実行します。


Dell Server Management Pack Suite がインストールされると、インストール情報を格納したログファイルが生成されます。ログファイルは **System\Temp(%temp%)** にあります。

## 以前のバージョンからの Dell Server Management Pack Suite のアップグレード

インストーラを使用して Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 にアップグレードすることができます。

### インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 からのアップグレード

インストーラは Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 からインストールされた機能を検出し、機能管理パックをバージョン 6.1 に自動的にアップグレードします。

 **メモ:** アップグレード完了後、インストーラが再起動するためのプロンプトメッセージを表示する場合がありますが、再起動は不要なため無視してください。

### バージョン 5.2.0 および以前のバージョンからのアップグレード

Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.2.0 以前からバージョン 6.1 へのアップグレードはサポートされていません。

## 以前の Operations Manager からのアップグレード

Microsoft のガイドラインに従って、以前のバージョンから OpsMgr をアップグレードすることができます。サポートされるアップグレードのシナリオについては、Microsoft System Center のマニュアルを参照してください。

### OpsMgr 2012 SP1 から OpsMgr 2012 R2 へのアップグレード


OpsMgr 2012 R2 へのアップグレードは、既存の Dell Server Management Pack Suite の機能や動作に影響を及ぼすことはありません。OpsMgr 2012 SP1 から OpsMgr 2012 R2 へのアップグレードに関する詳細については、[technet.microsoft.com/en-us/library/dn249707.aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/dn249707.aspx) を参照してください。

### OpsMgr 2012 から OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレード

OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレードは、既存の Dell Server Management Pack Suite の機能や動作に影響を及ぼすことはありません。OpsMgr 2012 から OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレードに関する詳細については、[technet.microsoft.com/en-us/library/jj899854.aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/jj899854.aspx) を参照してください。

### OpsMgr 2007 R2 から OpsMgr 2012 へのアップグレード


OpsMgr 2007 R2 から OpsMgr 2012 へのアップグレード方法の詳細に関しては、[technet.microsoft.com/en-us/library/hh476934.aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/hh476934.aspx) を参照してください。

 **メモ:** 機能管理ワークフローが最適レベルで動作していることを確実にするため、OpsMgr 2012 へのアップグレード後はルート管理サーバーを再起動してください。

## インストーラの修復オプションの使用

**修復** オプションでは、Dell Server Management Pack Suite のインストール中に発生したインストールエラーを修復することができます。

1. 解凍した場所から **Dell\_Server\_Management\_Pack\_Suite\_x64.msi** ファイルを実行します。  
Dell Server Management Pack Suite の、ようこそ画面が表示されます。
2. **次へ** をクリックします。  
プログラムメンテナンス画面が表示されます。
3. **修復** を選択し、**次へ** をクリックします。  
プログラム修復の準備完了画面が表示されます。
4. **インストール** をクリックします。  
進捗状況画面にインストールの進捗状況が表示されます。インストールが完了すると、**インストールが正常に完了しました**画面が表示されます。
5. **終了** をクリックします。

 **メモ:** 修復 オプションは、コントロールパネルのプログラムの追加と削除からは使用できません。


## Dell Server Management Pack Suite のアンインストール

Dell Server Management Pack Suite は、Windows のコントロールパネルから、または Dell Server Management Pack Suite インストーラの **削除** オプションを使用してアンインストールできます。

### インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite の削除

インストーラを使用して Dell Server Management Pack Suite を削除するには、次の手順を実行します。

1. 解凍した場所から **Dell\_Server\_Management\_Pack\_Suite\_x64.msi** ファイルを実行します。  
Dell Server Management Suite Pack の、ようこそ画面が表示されます。
2. **次へ** をクリックします。
3. **削除** を選択し、**次へ** をクリックします。  
プログラムの削除画面が表示されます。
4. **削除** をクリックします。  
Dell Server Management Pack Suite が削除されます。

 **メモ:**

- アンインストール中、バックグラウンドで COM サロゲートプロセスが **DellDeviceHelper.DLL** を実行しており、これは閉じられる必要があることから、The following applications should be closed before continuing the installation: COM Surrogate というメッセージが表示されます。**アプリケーションを自動で閉じて、セットアップ完了後にそれらを再起動する** オプションを選択します。**OK** をクリックしてアンインストールを続行します。
- Dell Server Management Pack Suite をアンインストールしても、OpsMgr にインポートされた Dell Management Pack は削除されません。OpsMgr から Dell Management Pack を削除するには、[technet.microsoft.com/en-us/library/cc974489.aspx](https://technet.microsoft.com/en-us/library/cc974489.aspx) を参照してください。



## Windows のコントロールパネルを使用した Dell Server Management Pack Suite のアンインストール

Windows のコントロールパネルを使用して Dell Server Management Pack Suite をアンインストールするには次の手順を実行します。


1. スタート → コントロールパネル → プログラムのアンインストール とクリックします。
2. **Dell Server Management Pack Suite** を右クリックし、**アンインストール** をクリックします。
3. 画面の指示に従って、アンインストールを完了します。

## トラップとトラップベースのユニット監視のための OpsMgr 2012 の設定

OpsMgr 2012 でトラップ、およびトラップベースのユニットを監視するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr 2012 を立ち上げて、**管理** をクリックします。
2. **管理** ペインで、**Run As 設定** → **プロファイル** と移動します。
3. 使用可能なプロファイルのリストから、**SNMP 監視アカウント** を右クリックし、**プロパティ** をクリックします。  
はじめに 画面が表示されます。
4. **次へ** をクリックします。  
**Run As プロファイルの一般プロパティの指定** 画面が表示されます。
5. **次へ** をクリックします。  
**Run As アカウント** 画面が表示されます。
6. **追加** をクリックします。  
**Run As アカウントの追加** 画面が表示されます。
7. **Run As アカウント** ドロップダウンリストからコミュニティ文字列を選択して、デバイスを検出します。
  -  **メモ:** コミュニティ文字列の **Run As アカウント** がない場合は作成してください。詳細に関しては、「[SNMP 監視のための Run As アカウントの作成](#)」を参照してください。
  -  **メモ:** デバイスの検出に複数の Run As アカウントを使用している場合は、各デバイスを関連する Run As アカウントに関連付けます。詳細に関しては、「[複数の Run As アカウントの関連付け](#)」を参照してください。
8. **OK** をクリックします。
9. ウィザードを完了したら、**閉じる** をクリックします。

### SNMP 監視のための Run As アカウントの作成

1. OpsMgr 2012 を立ち上げて、**管理** をクリックします。
2. **管理** ペインで、**Run As 設定** → **アカウント** と移動します。
3. **アカウント** を右クリックして、**Run As アカウントの作成** をクリックします。  
はじめに 画面が表示されます。
  -  **メモ:** ネットワーク監視用の Run As アカウントの詳細については、マイクロソフト TechNet サイト ([technet.microsoft.com/en-us/library/hh212920.aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/hh212920.aspx)) を参照してください。
4. **次へ** をクリックします。

一般プロパティ画面が表示されます。

5. **Run As アカウントのタイプ**：ドロップダウンリストから、**コミュニティ文字列** を選択します。
6. **コミュニティ文字列** を **表示名**: テキストボックスに入力して、**次へ** をクリックします。
7. **コミュニティ文字列** テキストボックスにアカウント資格情報を入力して、**次へ** をクリックします。  
**配布セキュリティ** 画面が表示されます。
8. **低セキュリティ - 管理下コンピューターのすべてに資格情報を自動配布する** オプションを選択して、**作成** をクリックします。
9. ウィザードを完了したら、**閉じる** をクリックします。

## 複数 Run As アカウントの関連付け

1. 「[トラップとトラップベースのユニット監視のための OpsMgr 2012 の設定](#)」の手順 1~6 に従います。
2. **Run As アカウントの追加** 画面で、**選択したクラス、グループ、またはオブジェクト** オプションを選択します。
3. **選択 → クラス** をクリックします。  
**クラス検索** 画面が表示されます。  
 **メモ**: コミュニティ文字列の **Run As アカウント** をオブジェクトおよびグループに関連付けることもできます。詳細に関しては、[technet.microsoft.com](http://technet.microsoft.com) で OpsMgr 2012 向けのマイクロソフトマニュアルを参照してください。
4. **次でフィルタ (オプション)** テキストボックスに、クラス名を入力します。デバイスのタイプに応じて、**Dell Server**、**Dell CMC**、**Dell DRAC/MC**、または **Dell RAC** クラスを入力します。
5. **検索** をクリックします。
6. **使用可能なアイテム** で、追加するクラスを選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. **Run As アカウントの追加** 画面で、**OK** をクリックします。
9. 管理したいクラスの各タイプに、手順 2~8 を繰り返します。
10. **保存** をクリックします。
11. ウィザードを完了したら、**閉じる** をクリックします。

## 監視機能のインストール

本項では、**Dell Feature Monitoring Dashboard** を使用した監視機能のインストール、アップグレード、および削除について説明します。

OpsMgr の **管理パックのインポート** ウィザードまたは **Dell Feature Management Dashboard** を使用して監視機能管理パックをインポートすることにより、OpsMgr に監視機能をインポートすることができます。監視機能の高度な微調整には、**Feature Management Dashboard** を使用します。詳細については、該当する監視機能で、**Feature Management タスク**を参照してください。

### OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート

Dell Server Management Pack をインポートするには、OpsMgr の管理パックのインポートウィザードを使用します。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**管理** をクリックします。
3. **管理** を展開し、**管理パック** を右クリックして、**管理パックのインポート** を選択します。
4. **管理パックの選択** 画面で、**追加 → ディスクから追加** とクリックします。
5. **Dell Server Management Pack Suite** をインストールした場所の詳細を入力するか、その場所まで移動します。  
デフォルトのディレクトリにインストールすることを選択した場合、Dell Server Management Pack は **C:\Program Files\Dell Management Packs\6.1** にあります。
6. インポートする管理パックを選択し、**開く** をクリックします。  
**管理パックのインポート画面** が表示され、**インポートリスト** に管理パックが表示されます。
7. **インストール** をクリックします。

### Feature Management Dashboard

**Feature Management Dashboard** には、Dell サーバー、Dell Sled、Dell Precision Rack、Dell Remote Access Controller (DRAC)、Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge VRTX、Dell PowerEdge M1000e、統合 DRAC (iDRAC) など、さまざまな Dell システムを監視するための、Dell Server Management Pack Suite 監視機能を設定する仕組みが備わっています。

- [エージェントベースの監視機能](#)
- [エージェント不要の監視機能](#)
- [DRAC 監視機能](#)
- [シャーシ監視機能](#)
- [シャーシモジュラーサーバー関連機能](#)

Dell Feature Management Dashboard を使用して、監視機能をインポート、アップグレード、および削除することが可能です。

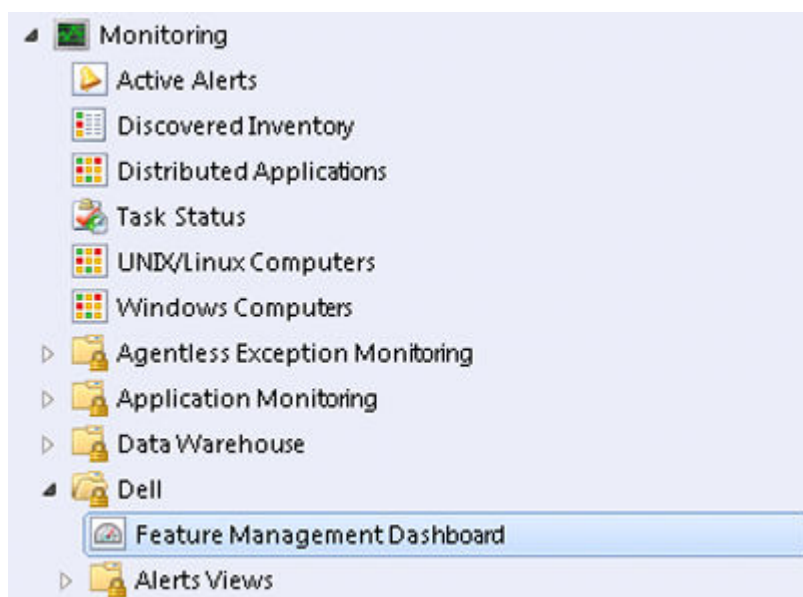
## Feature Management Dashboard を使用した監視機能のインポート

Feature Management Dashboard は、使用可能な Dell Server Management Pack Suite の監視機能を表示し、特定の機能が必要とされる管理パックのインポート、アップグレード、および削除のために、それらの監視機能を自動で設定します。

分散型セットアップ (OpsMgr 2012 内の分散型リソースプールを含む) では、Dell Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバーが、すべての機能管理アクティビティをホストするために選択されます。

監視機能をインポートするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**監視** をクリックします。
3. **監視** → **Dell** → **Feature Management Dashboard** と展開します。



Feature Management Dashboard ペインには、インストールされている監視機能、現在使用中のバージョン、アップグレード可能なバージョン、監視レベル、ノードの合計数、および必要なライセンスのリストを表示できます。

Feature Management Dashboard

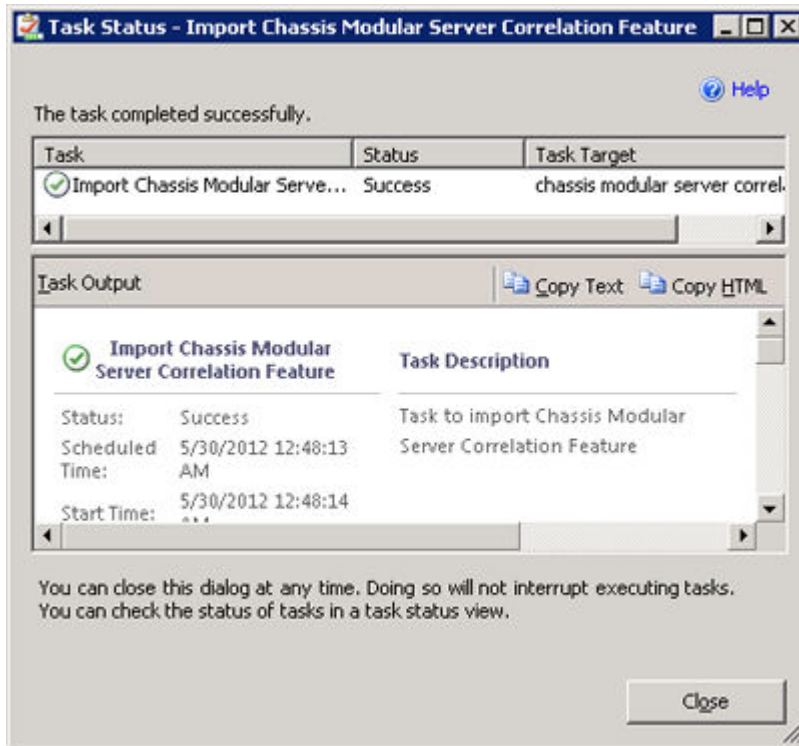
Feature Name	Description	Monitoring Level	In Use Version	Available Version	Total Node Count	Required Licens...	Licensed Feature
Chassis Modular Server Correlation	Perform correlat...	Not Installed	Not Installed	6.1	Not Applicable	Not Applicable	No
Chassis Monitoring	Monitor Dell ch...	Detailed Feature	6.1.0	6.1	2	Not Applicable	No
DRAC Monitoring	Monitor Dell re...	Not Installed	Not Installed	6.1	0	Not Applicable	No
Server and Rack Workstation Agent-based Monit...	Monitor Dell Po...	Detailed Feature	6.1.0	6.1	2	Not Applicable	No
Server and Rack Workstation Agent-free Monitor...	Monitor Dell Po...	Scalable Feature	6.1.0	6.1	0	0	Yes

図 1.


4. インストールする監視機能を選択します。
5. タスク ペインの下にある **Dell 監視機能タスク** を展開します。

## Dell Monitoring Feature Tasks ^

- 機能をインポート / アップグレードするタスクをクリックします。
- タスクの実行画面では、事前定義された RunAs アカウントの使用 オプションが選択されていることを確認します。
- 実行 をクリックします。
- タスクが正常に完了したら、閉じる をクリックします。



- 有効にする各監視機能で、手順 4~9 を繰り返します。

 **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください。

## Feature Management Dashboard を使用した監視機能のアップグレード

- OpsMgr コンソールを立ち上げます。
- ナビゲーションペインで、監視 をクリックします。
- Dell → Feature Management Dashboard とクリックします。
- アップグレードする監視機能を選択します。
- タスク ペインの下にある Dell 監視機能タスク を展開します。
- 実行するアップグレードタスクをクリックします。
- タスクの実行 アップグレード画面で、事前定義された RunAs アカウントの使用 オプションを選択します。
- 実行 をクリックします。

△ 注意: データ喪失につながる上書きを行う必要がある依存性または関連付けが存在する場合、該当するメッセージと共にタスクが失敗します。タスクを続行するには、上書き をクリックして 警告 / エラーの自動解決 上書きを True に設定します。詳細に関しては、[Feature Management Dashboard タスクが失敗する](#) を参照して下さい。

9. タスクを完了したら、閉じる をクリックします。

アップグレード中、Dell Server Management Pack Suite の以前のバージョンでのオーバーライド（検出、監視、規則へのカスタマイズ）は、すべて Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 に継承されます。

次の表には、Feature Management Dashboard を使用してカスタマイズできる監視機能がリストされています。

表 5. Feature Management Dashboard を使用した監視機能のカスタマイズ（拡張可能機能 vs 詳細機能）

機能	拡張性	詳細
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベースの監視	サーバーおよびコンポーネントグループレベルでのインベントリおよび正常性監視	コンポーネント（メモリ、プロセッサ、センサー、ネットワークインタフェース、ストレージコントローラ、ディスク、およびボリューム）の詳細なインベントリおよび監視。BIOS 情報も表示します。
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェント不要の監視	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々のコンポーネントまでのインベントリ。</li> <li>サーバーおよびコンポーネントグループレベルのみの正常性監視。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々のコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。</li> <li>電力、温度、ネットワークインタフェースカードのプロセッサ、メモリ、CUPS（1秒あたりのコンピュータの使用量）、PCIe SSD の摩耗レベルのメトリック、および IO のパフォーマンスメトリックを表示します。</li> </ul>
シャーシ監視	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャーシインベントリ。</li> <li>シャーシスロットサマリ。</li> <li>シャーシの正常性監視。</li> </ul>	個々のシャーシコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。
DRAC 監視	<ul style="list-style-type: none"> <li>iDRAC インベントリ</li> <li>iDRAC の正常性監視</li> </ul>	適用なし。
シャーシモジュラーサーバー関連	Dell モジュラーサーバーとシャーシを相関させます（Dell モジュラーサーバー内にあるシャーシからコンポーネントまでのインベントリと正常性を表示します）。	適用なし。

## Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能の削除

監視機能を削除するには、**Dell Feature Management Dashboard** を使用します。監視機能を削除する前に、開いているすべてのアラートを閉じるか、解決してください。監視機能の削除中、**Feature Management Dashboard** はすべての上書き参照をバックアップとしてインストールフォルダにエクスポートしますが、カスタムグループ情報および上書きインスタンスレベル情報を将来再利用することはできません。

監視機能を削除するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr を起動して、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell → Feature Management Dashboard** と移動します。  
**Feature Management Dashboard** ペインに、OpsMgr 内に存在する監視機能のリストが表示されます。
3. 削除する監視機能を選択します。
4. **タスク** ペインの下にある **Dell 監視機能タスク** を展開します。



**メモ:** System Center Operations Manager 2007 R2 では、**タスク** ペインが **アクション** ペインと呼ばれています。

5. **機能の削除** をクリックして、監視機能を削除します。  
たとえば、**サーバーとラック型ワークステーションのエージェントベースの監視** 機能を削除するには、**タスク** ペインで、**エージェントベースの監視機能の削除** をクリックします。
6. **タスクの実行 - 機能の削除** 画面で、**事前定義された Run As アカウントを使用する** オプションを選択します。
7. **実行** をクリックします。



**注意:** データ喪失につながる上書きを行う必要がある依存性または関連付けが存在する場合、該当するメッセージと共にタスクが失敗します。タスクを続行するには、**上書き** をクリックして **警告 / エラーの自動解決** 上書きを **True** に設定します。詳細に関しては、[Feature Management Dashboard タスクが失敗する](#) を参照してください。

8. タスクが終了したら、**閉じる** をクリックします。



**メモ:** **Feature Management Dashboard** で監視機能の削除タスクを実行すると、カスタムグループで参照される上書きまたはインスタンスがある場合、失敗します。このような場合、カスタムグループに関連付けられた上書きまたはインスタンスを削除してください。

## エージェントベースの監視機能

エージェントベースの監視機能は、モノリシックおよびモジュラー型 Dell PowerEdge、Dell PowerVault ストレージサーバー、およびサポートされる Windows オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator (OMSA) を実行している対応 Dell Precision Racks の検出と監視をサポートします。サポートされる OMSA バージョンの詳細については、『Microsoft System Center Operations Manager 用 Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 リリースノート』を参照してください。


Dell Server Management Pack Suite インストーラは、エージェントベースの監視機能を自動的にインポートします。

### 管理パック

Dell Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、次の管理パックが OpsMgr コンソールの **管理** ペインに表示されます。詳細に関しては、「[OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート](#)」を参照してください。

次の表には、エージェントベースの監視機能のために必要な管理パックを一覧表示しています。

表 6. エージェントベースの監視機能と必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベースの監視	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.1\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.1\Server Monitoring	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> <li>Dell.Connections.HardwareLibrary.mp</li> <li>Dell.OperationsLibrary.Server.mp</li> </ul> 拡張可能機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>Dell.Model.Server.mp</li> <li>Dell.WindowsServer.Scalable.mp</li> <li>Dell.View.Server.mp</li> <li>(オプション) Dell.WindowsServer.InformationAlertsOn.mp</li> </ul>  <b>メモ:</b> Dell.WindowsServer.InformationAlertsOn.mp (情報アラートを受信したい場合にのみインポート)  詳細機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>Dell.WindowsServer.Detailed.mp およびすべての拡張可能管理パック</li> </ul>

## 管理サーバー (MS) の要件

### 対応オペレーティングシステム

次に、管理サーバー用に OpsMgr がサポートするオペレーティングシステムをリストします。


- OpsMgr 2012 R2、OpsMgr 2012 SP1、および OpsMgr 2012 については、[technet.microsoft.com/en-us/library/hh205990.aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/hh205990.aspx) を参照してください。
- OpsMgr 2007 R2 については、[technet.microsoft.com/en-us/library/bb309428\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb309428(en-us).aspx) を参照してください。

### ソフトウェア要件

次の表に、本スイートの追加機能を使用するための管理サーバーにおけるソフトウェア要件をリストしています。

表 7. ソフトウェアの前提条件

ソフトウェア	目的
(オプション) Dell OpenManage Server Administrator (Server Administrator) からの DRAC ツール	Dell サーバーおよびラック型ワークステーションの iDRAC とその NIC のインベントリと監視を実行します。
(オプション) Dell License Manager (iDRAC 7 以降のシステムのみ)	<b>Dell License Manager</b> コンソールを起動し、ライセンスを展開してレポートを収集し、管理サーバーに Dell License Manager をインストールします。詳細に関しては、 <a href="http://dell.com/support/home">dell.com/support/home</a> で『 <i>Dell License Manager ユーザーズガイド</i> 』を参照してください。
(オプション) Dell OpenManage Power Center	Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。OpsMgr コンソールを使用してデータセンターの電力消費量および温度を監視および管理し、Dell OpenManage Power Center を管理サーバーにインストールします。詳細に関しては、 <a href="http://dell.com/support/home">dell.com/support/home</a> で『 <i>Dell OpenManage Power Center インストールガイド</i> 』を参照してください。
(オプション) ベースボード管理コントローラ (BMC) 管理ユーティリティ	Dell の管理下システムにおいて、リモート電源制御タスク、または LED 識別制御タスクを実行します。

 **メモ:** DRAC ツール、Dell OpenManage Server Administrator (Server Administrator)、BMC 管理ユーティリティ、Dell License Manager には *Dell Systems Management Tools and Documentation* メディアからアクセスするか、[dell.com/support/](http://dell.com/support/) からダウンロードします。

### 管理サーバーアクションアカウント (MSAA)



MSAA では、次の機能には Dell 管理下システムで次の追加権限が必要です。

表 8. MSAA 権限

機能	ユーザー権限
DRAC 検出と、対応する DRAC コンソール起動	管理者またはパワーユーザー
ESM ログのクリア	管理者またはパワーユーザー  あるいは、MSAA に標準のユーザー権限が付与されている場合、ユーザーは <b>事前定義された RunAs アカウントの使用</b> を選択する代わりに、パワーユーザー以上の権限のあるタスク資格証明を入力して、 <b>ESM ログのクリア</b> タスクを実行できます。

## 管理下システム要件

サポートされている Server Administrator のバージョン (Server Administrator Storage Management Service を含む) を管理下システムにインストールします。

-  **メモ:** 管理下システム上の Server Administrator をアップグレードまたはアンインストールする場合は、管理下システムの **アラートビュー** に Script or Executable failed to run (スクリプトまたは実行可能ファイルの実行に失敗しました) というエラーが表示されます。管理下システムが管理サーバーではない場合は、アップグレードまたはアンインストールが完了するまで、システムをメンテナンスモードに切り替えてください。管理下システムが **管理サーバー** である場合は、アップグレードまたはアンインストール完了後に、アラートを手動で閉じることができます。
-  **メモ:** Server Administrator 7.2 DRAC ツールを使用するシステムでは、Server Administrator 7.4 DRAC ツールにアップグレードすることをお勧めします。
-  **メモ:** 管理下システムでサポートされるオペレーティングシステムについての詳細は、[dell.com/support/home](http://dell.com/support/home) にある『Dell OpenManage Server Administrator インストールガイド』を参照してください。

## 機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるエージェントベースの監視機能タスクがリストされています。機能管理タスクの表にリストされているタスクの一部は、特定の監視機能をインポートした後でしか表示されません。



-  **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。
-  **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します)。

表 9. 機能管理タスク

タスク	説明
エージェントベースの詳細機能のインポート	エージェントベースの監視機能の詳細機能をインポートします。
エージェントベースの拡張可能機能のインポート	エージェントベースの監視機能の拡張性に優れた機能をインポートします。
優先監視手段としてのエージェントベースの設定	このタスクは、セットアップ内で Dell サーバーとラック型ワークステーションが、エージェントベースの監視機能とエージェント不要の監視機能の両方を通じて監視される場合に、Dell サーバーおよびラック型ワークステーションの優先監視手段として、エージェントベースの監視機能を有効にします。
エージェントベースの拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 <b>Feature Management Dashboard</b> は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。  以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
エージェントベースの詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 <b>Feature Management Dashboard</b> は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。  以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
情報アラートをオンに設定	エージェントベースの拡張可能監視の使用時に情報アラートがオンになります。
情報アラートをオフに設定	エージェントベースの拡張可能監視の使用時に情報アラートがオフになります。
ダッシュボードの更新	<b>Feature Management Dashboard</b> を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
エージェントベース監視機能の削除	エージェントベースの監視機能を削除します。

## エージェント不要の監視機能

エージェント不要の監視機能は、サーバーの iDRAC を使用して Dell PowerEdge サーバー（Dell PowerEdge サーバーの第 12 世代以降）の詳細なインベントリと監視を行います。WSMAN および SNMP を使用しません。

前提条件を満たす場合、Dell Server Management Pack Suite インストーラは、エージェント不要の管理機能を自動的にインポートします。

### 管理パック

Dell Server Management Pack Suite の管理パックがインポートされると、次の管理パックが OpsMgr コンソールの **管理** ペインに表示されます。詳細に関しては、[OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート](#)を参照してください。

次の表には、エージェント不要の監視機能に必要な管理パックとそのデフォルトの場所がリストされています。

表 10. エージェント不要の監視機能と必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェント不要の監視	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.1\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.1\Server Monitoring	ライブラリ • Dell.Connections.HardwareLibrary.mp • Dell.OperationsLibrary.Common.mp 拡張可能機能 • Dell.Model.Server.mp • Dell.OperationsLibrary.Server.mp • Dell.Server.OOB.mp • Dell.View.Server.mp 詳細機能 • Dell.Server.OOB.DetailedMonitoringOn.mp およびすべての拡張可能管理パック


## 管理サーバー（MS）の要件

表 11. ソフトウェアの前提要件

ソフトウェア	目的
(必須) OpsMgr 2012 以降	エージェント不要の監視機能は、OpsMgr 2012 を実行している管理サーバーでのみ使用可能です。
(必須) Microsoft の SMASH ライブラリ MPB	エージェント不要の監視機能では、Dell サーバーの検出に Microsoft の SMASH ライブラリを必要とします。詳細に関しては、「 <a href="#">WS-Management と SMASH デバイスのテンプレートのインストール</a> 」を参照してください。
(オプション) Dell License Manager (iDRAC 7 以降のシステムのみ)	<b>Dell License Manager</b> コンソールを起動するには、ライセンスを展開してレポートを収集し、管理サーバーに Dell License Manager をインストールします。詳細に関しては、 <a href="http://dell.com/support/home">dell.com/support/home</a> にある『 <i>Dell License Manager ユーザーズガイド</i> 』を参照してください。
(オプション) Dell OpenManage Power Center	Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。OpsMgr コンソールを使用してデータセンターの電力消費量および温度を監視および管理するには、Dell OpenManage Power Center を管理サーバーにインストールします。詳細に関しては、 <a href="http://dell.com/support/home">dell.com/support/home</a> にある『 <i>Dell OpenManage Power Center インストールガイド</i> 』を参照してください。
iDRAC への WSMAN 接続	エージェント不要の監視によってサーバーを検出します。


## 管理下システム要件

管理下システムを検出および監視するには、iDRAC 7 以降が必要です。

 **メモ:** ホスト NIC の検出および監視のために、管理下システムに iSM 2.0 以降をインストールします。

## 機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるエージェント不要の監視機能タスクがリストされています。機能管理タスクの表にリストされているタスクの一部は、エージェント不要の監視機能をインポートした後でしか表示されません。

 **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。


 **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

表 12. 機能管理タスク

タスク	説明
エージェント不要の拡張可能機能のインポート	エージェント不要の監視機能の拡張可能機能をインポートします。
エージェント不要の詳細機能のインポート	エージェント不要の監視機能の詳細機能をインポートします。
エージェント不要の拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 <b>Feature Management Dashboard</b> は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。  以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
エージェント不要の詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 <b>Feature Management Dashboard</b> は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。  以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
優先監視手段としてのエージェント不要の設定	セットアップ内で Dell サーバーとラック型ワークステーションが、エージェントベースの監視機能とエージェント不要の監視機能の両方を通じて監視される場合に、Dell サーバーおよびラック型ワークステーションの優先監視手段として、エージェントベースの監視機能を有効にします。
Run-As アカウントの関連付け	このタスクは、SMASH 検出に使用される Run As アカウントを、正常性監視に必要なすべての Dell サーバーオブジェクトに関連付けます。詳細に関しては、「 <a href="#">Run As アカウントの関連付けタスク</a> 」を参照してください。
エージェント不要の監視機能の削除	エージェント不要の監視機能を削除します。
ダッシュボードの更新	<b>Feature Management Dashboard</b> を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。

## DRAC 監視機能

DRAC 監視機能は、SNMP を使用したさまざまな世代の iDRAC (iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 システム) の検出と監視をサポートします。

### 管理パック

Dell Server Management Pack Suite 管理パックが正常にインポートされたらと、DRAC 監視機能および必要な管理パックの表にリストされた管理パックが、OpsMgr コンソールの **管理** ペインに表示されます。詳細に関しては、「[OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート](#)」を参照してください。

次の表には、DRAC 監視機能のために必要な管理パックを示します。

表 13. DRAC 監視機能と必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
DRAC 監視	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.1\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.1\Remote Access Monitoring	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> <li>Dell.Connections.HardwareLibrary.mp</li> <li>Dell.OperationsLibrary.Common.mp</li> </ul> 管理パック <ul style="list-style-type: none"> <li>Dell.DRAC.OM07.mp – OpsMgr 2007 R2</li> <li>Dell.DRAC.OM12.mp – OpsMgr 2012</li> <li>Dell.Model.DRAC.mp</li> <li>Dell.OperationsLibrary.DRAC.mp</li> <li>Dell.View.DRAC.mp</li> </ul>

### 管理サーバー (MS) の要件

次の表に、スイートの DRAC 監視機能を使用するための管理サーバーでのソフトウェアの要件を示します。

表 14. ソフトウェア要件

ソフトウェア	目的
(オプション) Dell License Manager (iDRAC 7 システムのみ)	ライセンスを展開して、管理サーバーからレポートを収集します。 <b>Dell License Manager</b> コンソールを起動するには、管理サーバーに Dell License

ソフトウェア	目的
	Manager をインストールします。詳細に関しては、 <a href="http://dell.com/support/home">dell.com/support/home</a> にある『Dell License Manager ユーザーズガイド』を参照してください。
(オプション) Dell OpenManage Power Center	<b>Power Center</b> コンソールを起動するには、 <b>Dell OpenManage Power Center</b> を管理サーバーにインストールします。詳細に関しては、 <a href="http://dell.com/support/home">dell.com/support/home</a> にある『Dell OpenManage Power Center インストールガイド』を参照してください。

## DRAC 監視要件

シャーシデバイスの正常性を監視するには、コミュニティ文字列 **Run As アカウント** を **Dell Remote Access Controller** クラス、またはそれぞれのシャーシオブジェクト（異なるシャーシデバイスに異なる Run As アカウントがある場合）をターゲットとして、**SNMP 監視アカウント** と関連付けます。

## 機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できる DRAC 監視タスクがリストされています。機能管理タスクの表にリストされているタスクの一部は、DRAC 監視機能をインポートした後でしか表示されません。



-  **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。
-  **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

表 15. 機能管理タスク

タスク	説明
DRAC 監視機能のインポート	DRAC 監視機能を有効にします。
DRAC 監視機能のアップグレード	DRAC 監視機能の最新バージョンにアップグレードします。
ダッシュボードの更新	<b>Feature Management Dashboard</b> を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
DRAC 監視機能の削除	DRAC 監視機能を削除します。

## シャーシ監視機能

シャーシ監視機能は、SNMP および WS-Man を使用した Dell PowerEdge FX2/ FX2 シャーシ、Dell PowerEdge VRTX シャーシおよび Dell PowerEdge M1000e シャーシ上の Chassis Management Controller (CMC) の検出および監視をサポートします。

シャーシ監視機能は、OpsMgr 2012 の個々のシャーシコンポーネントの詳細監視もサポートします。

### 管理パック

Dell Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、次の管理パックが OpsMgr コンソールの **管理** ペインに表示されます。詳細については、[OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート](#) を参照してください。

次の表には、シャーシ監視機能のために必要な管理パックを一覧表示しています。

表 16. 必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
シャーシ監視	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.1\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.1\Chassis Monitoring	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> <li>Dell.Connections.HardwareLibrary.mp</li> <li>Dell.OperationsLibrary.Common.mp</li> </ul> 拡張可能機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>Dell.CMC.OM07.mp – OpsMgr 2007 R2</li> <li>Dell.CMC.OM12.mp – OpsMgr 2012</li> <li>Dell.Model.Server.mp</li> <li>Dell.OperationsLibrary.CMC.mp</li> <li>Dell.View.CMC.mp</li> </ul> 詳細機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>Dell.Chassis.Detailed.mp およびすべての拡張可能管理パック</li> </ul>

# 管理サーバー (MS) の要件


## ソフトウェア要件

表 17. ソフトウェア要件

ソフトウェア	目的
Dell OpenManage Server Administrator からの DRAC ツール	<ul style="list-style-type: none"><li>CMC のシャーシの、シャーシ、シャーシスロットサマリ、およびサーバーモジュールを検出するためのものです</li><li>シャーシ詳細監視</li></ul>

## シャーシ監視要件

- シャーシデバイスの正常性を監視するには、コミュニティ文字列 **Run As アカウント** を **Dell Modular Chassis** クラス、またはそれぞれのシャーシオブジェクト（異なるシャーシデバイスに異なる Run As アカウントがある場合）をターゲットとして、**SNMP 監視アカウント** と関連付けます。
- スロット検出と相関を正常に動作させるため、CMC デバイスでは Remote Access Controller Admin (RACADM) を、Dell PowerEdge VRTX デバイスでは CMC モジュールを有効にします。詳細に関しては、[dell.com/support/home](http://dell.com/support/home) で『iDRAC7 および CMC 向け RACADM コマンドラインリファレンスガイド』を参照してください。
- CMC のシャーシスロットおよびシャーシスロットサマリを検出するには、**Run As アカウント** を作成し、そのアカウントを **Dell CMC ログインアカウント** Run As プロファイルに関連付けます。また、OpsMgr コンソールから **CMC スロット検出** も有効にします。詳細に関しては、「[サーバーモジュールをシャーシスロットサマリと相関させるための Dell Chassis Management Controller 機能の設定](#)」を参照してください。
- シャーシの詳細監視を実行するには、Dell CMC へのアクセスに必要な WS-Man 資格情報で **Run As アカウント** を作成し、そのアカウントをプロファイル (**Dell CMC ログインアカウント** Run As プロファイル) に関連付けます。

 **メモ:** モジュラーサーバースロット相関、およびスロット検出機能を正常に機能させるには、システムを Server Administrator 7.2 DRAC ツールを使用して Server Administrator 7.4 DRAC ツールにアップグレードします。


## シャーシスロットサマリを使用した相関サーバーモジュール用 Dell Chassis Management Controller 機能の設定

サーバーモジュールを相関させるために CMC 機能を設定するには、**Run As アカウント** を作成してそれを Run As プロファイルに関連付け、シャーシスロットサマリの自動入力を行います。

- シャーシの CMC モジュールに接続する権限のある、簡易認証タイプの **Run As アカウント** を作成します。また、ユーザー資格情報を設定するには、**ベーシック** または **ダイジェスト** の Run As アカウントタイプを使用します。
- 特定の管理サーバーに対して選択的に設定を適用できるようにするため、**Run As アカウント** 設定で、**高セキュリティ** または **低セキュリティ** オプションを選択します。

簡易認証タイプの **Run As アカウント** の作成方法については、[dell.com/](http://dell.com/)

**OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement** で『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 ユーザーズガイド』の「簡易認証 Run As アカウントの作成」を参照してください。


 **メモ:** サーバー管理アクションアカウントを OpsMgr 管理者グループに追加します。

3. 作成した Ran As アカウントを **Dell CMC ログインアカウント** のプロフィールに関連付け、プロフィール上で設定できる適切なクラス、グループ、またはオブジェクトを選択します。
  - CMC のスロットサマリ検出を有効にするには、**Dell CMC スロット検出** で有効化プロパティを **True** に上書きします。これは、デフォルトで無効になっています。

 **メモ:** スロット検出後、**RunAs アカウント** と **RunAs プロファイル** 間のリンクを削除、またはスロット検出ワークフローを無効化すると、検出されたスロットには古いデータが残ります。

## 機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるシャーシ監視タスクがリストされています。Feature Management タスクの表にリストされているタスクの一部は、シャーシ監視機能をインポートした後でしか表示されません。

 **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。


 **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

表 18. 機能管理タスク

タスク	説明
シャーシ監視拡張可能機能のインポート	シャーシ監視拡張可能機能をインポートします。
シャーシ監視詳細機能のインポート	シャーシ監視詳細機能をインポートします。
シャーシ拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 <b>Feature Management Dashboard</b> は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。  以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
シャーシ詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 <b>Feature Management Dashboard</b> は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。
シャーシ監視機能の削除	シャーシ監視機能（拡張可能監視機能および詳細監視機能の両方）を削除します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
ダッシュボードの更新	<b>Feature Management Dashboard</b> を更新します。

## シャーシモジュラーサーバー関連機能

シャーシモジュラーサーバー関連機能は次をサポートします。

- Dell モジュラーサーバーとシャーシスロットの関連。
  - **メモ:** CMC スロット検出はデフォルトで無効にされています。このため、関連機能を機能させるには CMC スロット検出を有効にします。
- シャーシ共有ストレージコンポーネントと Dell サーバーの関連。
  - **メモ:** シャーシ共有コンポーネントと Dell サーバーとの関連に、シャーシ詳細監視をインポートします。

### 管理パック

Dell Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、次の管理パックが OpsMgr コンソールの **管理** ペインに表示されます。詳細については、[OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート](#) を参照してください。

次の表には、シャーシモジュラーサーバー関連監視機能のために必要な管理パックを一覧表示しています。

表 19. シャーシモジュラーサーバー関連監視機能と必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
シャーシモジュラーサーバー 関連	ライブラリ  C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.1\Library 管理パック  C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite \6.1\ChassisModular ServerCorrelation	ライブラリ  • Dell.Connections.HardwareLibrary. mp • Dell.OperationsLibrary.Common.m p  管理パック  • Dell.ChassisModularServer.Correlati on.mp

# 管理サーバー (MS) の要件

## シャーシモジュラーサーバー関連監視要件

### 分散型 OpsMgr 環境におけるシャーシブレード関連


分散型 OpsMgr 2007 R2 環境では、CMC の検出および監視を行う管理サーバーのサーバープロキシを有効にします。

プロキシエージェントを有効化するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **管理** をクリックします。
2. **管理** ペインで、**管理** → **デバイス管理** → **管理サーバー** と展開します。
3. シャーシデバイスを検出した管理サーバーを選択します。
4. 右クリックして、**プロパティ** を選択します。
5. **管理サーバーのプロパティ** で **セキュリティ** をクリックします。
6. このサーバーをプロキシとして動作させて、他のコンピューター上の管理下オブジェクトを検出するを選択します。
7. **OK** をクリックします。

## 機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるシャーシモジュラーサーバー関連機能タスクがリストされています。機能管理タスクの表にリストされているタスクの一部は、シャーシモジュラーサーバー関連監視機能をインポートした後でしか表示されません。

 **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。


 **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

表 20. 機能管理タスク

タスク	説明
シャーシモジュラーサーバー関連機能のインポート	シャーシモジュラーサーバー関連機能を有効にします。
シャーシモジュラーサーバー関連機能のアップグレード	シャーシモジュラーサーバー関連機能の最新バージョンにアップグレードします。
シャーシモジュラーサーバー関連機能の削除	シャーシモジュラーサーバー関連機能を削除します。
ダッシュボードの更新	<b>Feature Management Dashboard</b> を更新します。

## トラブルシューティング


本章では、インストール関連のエラーのトラブルシューティングについての情報を説明します。

### Feature Management Dashboard が自動入力されない

分散型セットアップ (OpsMgr 2012 内の分散型リソースプールを含む) では、Dell Server Management Pack Suite がインストールされている管理サーバーを最初に選択し、検出、アラートおよびタスクなどのすべての機能管理アクティビティをホストします。Dell Server Management Pack Suite がインストールされている管理サーバーが最初に Feature Management Dashboard にデータを表示します。ただし、管理サーバー上でインストーラを実行せずに、Feature Monitoring Management Pack を手動でインポートした場合は、Feature Management Pack ホストが選択されないため、**Feature Management Dashboard** にデータが表示されません。


**Feature Management Dashboard** にデータを表示させるには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** で、**Management Pack オブジェクト** を展開します。
3. **オブジェクトの検出** をクリックします。
4. **検索対象** : フィールドで、**Dell Feature Management ホスト検出** を検索します。
5. **Dell Feature Management ホスト検出** を右クリックして、**上書き → オブジェクト検出の上書き → クラスのすべてのオブジェクト : Dell Feature Management ホスト検出** の順に選択します。
6. 機能管理アクティビティを実行するには、**FmpHostFqdn** を選択して、管理サーバーの FQDN の上書き値を設定します。

 **メモ:** OpsMgr 2007 R2 のクラスタ化された環境で機能管理ワークフローをスケジュールするには、FmpHostFqdn 値をクラスタの FQDN で上書きします。

### Feature Management Dashboard タスクが失敗する

**Feature Management Dashboard** でのアップグレードタスクの実行は、データ喪失の原因になる場合があります。たとえば、変更されている監視機能に依存性または関連性が存在すると、アップグレードタスクが失敗し、適切なメッセージが表示されます。

 **注意:** タスクパラメータを上書きすると、管理パックまたはオペレーショナルデータが失われます。

1. OpsMgr コンソール を立ち上げて、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell → Feature Management Dashboard** と移動します。  
**Feature Management Dashboard** ペインに、OpsMgr 内の管理パックとアップグレード可能な管理パックのバージョンのリストが表示されます。
3. 監視機能を選択します。

4. タスク で、 **Dell 監視機能タスク** を展開します。
5. 監視のアップグレードタスクをクリックします。  
たとえば、**シャーシ監視** 機能をアップグレードするには、 **Dell 監視機能タスク** で **シャーシ監視機能のアップグレード** をクリックします。
6. **タスクの実行 – 監視機能のアップグレード** 画面で、 **上書き** をクリックします。  
**タスクのパラメータのオーバーライド** が表示されます。
7. **新しい値** のドロップダウンメニューで、 **警告 / エラーの自動解決** を **True** に変更します。
8. **上書き** をクリックします。
9. **実行** をクリックしてタスクを実行します。

## 機能管理アラート

ダッシュボードの Feature Management アラートで生成されるアラートは次のとおりです。

表 21. 機能管理アラート

アラートテキスト	アラート状態	原因	解決策
Dell FMP: Dell Device Helper Utility が存在しない、または Dell エージェント不要の監視 Management Pack との互換性がありません。	重要	Dell Device Helper Utility バージョン 6.1 が見つからなかったか、Dell Device Helper Utility が破損しています。  Dell Device Helper Utility バージョン 6.1 より新しいバージョンが見つかりました。  Dell Device Helper Utility バージョン 6.1 より古いバージョンが見つかりました。	管理サーバー上で Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 インストーラを実行してください。

## Feature Management Host Server の正常性サービスがダウンしている

分散型セットアップでは、Dell Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバーが、検出、アラートおよびタスクなどのすべての機能管理アクティビティをホストするために最初に選択されます。選択された管理サーバーの機能が停止すると、実行された機能管理タスクが失敗し、**Feature Management Dashboard** にデータは投入されません。そのような選択された管理サーバーが破損している、またはサーバーの正常性サービスが取得できない場合は、管理サーバーを廃棄して古いオブジェクトを削除します。詳細については、[technet.microsoft.com/en-us/library/hh456439.aspx](https://technet.microsoft.com/en-us/library/hh456439.aspx) を参照してください。

**Feature Management Dashboard** にデータを表示させるには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、 **オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** で、 **Management Pack オブジェクト** を展開します。
3. **オブジェクトの検出** をクリックします。

4. **検索対象**：フィールドで、**Dell Feature Management ホスト検出** を検索します。
5. **Dell Feature Management ホスト検出** を右クリックして、**上書き → オブジェクト検出の上書き → クラスのすべてのオブジェクト : Dell Feature Management ホスト検出** の順に選択します。
6. **FmpHostFqdn** を選択し、上書き値を Feature Management のアクティビティが実行される必要がある管理サーバーの FQDN に設定します。

## 付録


### Web Services Management (WS-Man) と SMASH デバイス テンプレートのインストール

WS-Man と SMASH デバイステンプレートをインストールするには、次の手順を実行します。

1. [go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=244308](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=244308) から、SMASH ライブラリ MPB ファイル **WS-ManagementAndSMASHDeviceDiscoveryTemplate.msi** を一時的な場所にダウンロードします。
2. .msi を実行して、ユーザー/デフォルト場所に SMASH Library MPB ファイルをコピーします。
3. OpsMgr 2012 コンソールを起動します。
4. ナビゲーションペインで、**管理** をクリックします。
5. **管理** を展開し、**管理パック** を右クリックして、**管理パックのインポート** を選択します。
6. **追加** → **ディスクから追加** をクリックします。
7. マイクロソフトの SMASH ライブラリ MPB ファイルをダウンロードした場所の詳細を入力するか、その場所に移動します。
8. MPB ファイルを選択して **開く** をクリックします。  
管理パックのインポート画面 が表示され、インポートリスト にテンプレートが表示されます。
9. **インストール** をクリックします。

### Run As アカウントの関連付けタスク – エージェント不要の監視機能

Run As アカウントの関連付けタスクでは、SMASH 検出で使用した Run As アカウントを、正常性監視に必要なすべての Dell サーバーオブジェクトに関連付けます。このタスクは、オブジェクトレベルの関連付けを実行するオプションとして使用できます。

 **警告:** Run As アカウントの関連付けタスクは、必要な場合にのみ実行してください。このタスクは、すべての Dell サーバーオブジェクトの設定に影響します。Dell サーバー Run As アカウント関連ユニット監視は、オブジェクトレベルの関連付けを自動的に実行します。

## デルサポートサイトからの文書へのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- 次のリンクを使用します。
  - すべての Enterprise システム管理マニュアル - [dell.com/softwaresecuritymanuals](https://dell.com/softwaresecuritymanuals)
  - OpenManage マニュアル - [dell.com/openmanagemanuals](https://dell.com/openmanagemanuals)
  - リモートエンタープライズシステム管理マニュアル - [dell.com/esmmanuals](https://dell.com/esmmanuals)
  - OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル - [dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement](https://dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement)
  - Serviceability Tools マニュアル - [dell.com/serviceabilitytools](https://dell.com/serviceabilitytools)
  - クライアントシステム管理マニュアル - [dell.com/clientsystemsmanagement](https://dell.com/clientsystemsmanagement)
  - OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル - [dell.com/dellclientcommandssuitemanuals](https://dell.com/dellclientcommandssuitemanuals)
- Dell サポートサイトから、
  - a. [dell.com/support/home](https://dell.com/support/home) にアクセスします。
  - b. **製品の選択** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
  - c. **ソフトウェアとセキュリティ** グループボックスで、次の中から必要なリンクをクリックします。
    - **エンタープライズシステム管理**
    - **リモートエンタープライズシステム管理**
    - **Serviceability Tools**
    - **クライアントシステム管理**
    - **接続クライアントシステム管理**
  - d. ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
  - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。